

ハンマーヘッドパークとハンマーヘッドデッキが 令和2年8月28日(金)に完成します！！

ハンマーヘッドパークは、平成30年に土木学会推奨土木遺産に認定された歴史的に貴重な構造物であるハンマーヘッドクレーンを中心とした開放的な空間であり、客船寄港時の歓送演奏をはじめ、多目的なイベント広場として使用します。

ハンマーヘッドデッキは、横浜ハンマーヘッド(新港客船ターミナル)とパークを接続する歩行者デッキであり、クルーズ客船の一般見学及び送迎の場として、また、みなとみらい21地区やベイブリッジを眺望できる市民が集い憩える展望施設となります。

商業施設と一体となり、新たな横浜の名所となるハンマーヘッドパーク及びデッキをこの度、全面的に開園(開通)します。



開園(開通)日時：令和2年8月28日(金) 11時～

【完成イメージパース図】

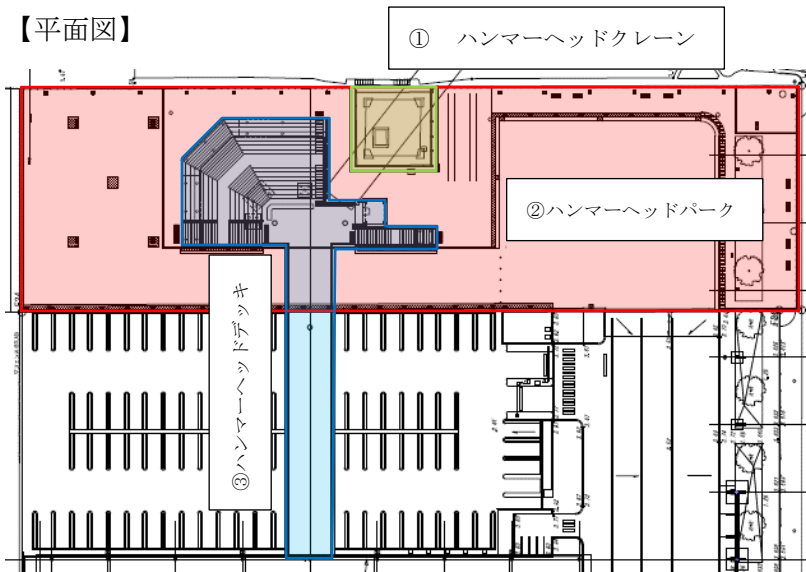


お問合せ先

港湾局建設第一課長 斎藤 慎太郎 Tel 045-671-2879

【裏面あり】

【平面図】



＜施設概要＞

- ①ハンマーヘッドクレーン
- ②ハンマーヘッドパーク
- 面積：約 0.3ha
- ③ハンマーヘッドデッキ
- 延長：48.0m
- 有効幅員：6.0m（通路部）

【完成イメージパース図】



～「ハンマーヘッドクレーン」について～

新港ふ頭は 1899（明治 32）年に埋め立てを開始し、1914（大正 3）年に完成したふ頭です。

ハンマーヘッドクレーンは、この整備に合わせて設置された日本初の荷役専用クレーンで、関東大震災でも大きな損傷を受けることなく、2001（平成 13）年までの 88 年間、貨物の積み降ろしに使われ、横浜港の近代化を支えてきました。

このクレーンは、現在も稼働可能な状態で保存されており、当時日本に導入された 5 基のうち、横浜市、長崎市、佐世保市に残る 3 基のみとなっています。

【指定・認定】

- ・経済産業省近代化産業遺産（2007（平成 19）年認定）
- ・土木学会推奨土木遺産（2018（平成 30）年認定）